（リスクアセスメント）　溝切清掃　作業手順書

No.108

会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋㈱	主な設備、仕様機械	主な使用工具、器具	安全設備、保護具	使用材料
作成日	令和6年3月25日	トラック、ダンプ	角スコップ、竹箒、ケレン棒、バール等	ヘルメット、手袋、安全靴、安全チョッキ	
改訂日	令和7年5月9日	強力吸引車	土嚢袋、ビニール袋	保護メガネ、マスク、しらすんだ一受信機	
作成者	湯淺				

必要資格等	運転免許（準中型以上）	作業人員	5 名	その他	
備考					

作業工程	No	単位作業 と その主な手順	危険有害要因（予測される災害・事故）（品質、トラブルも含む）	危険要因 可能性	重大性	評価	危険有害要因低減対策	誰が 点検・確認	対策後 可能性	重大性	評価
準備工		**作業前ミーティング**									
	1	新規入場者のチェックをする	現場、施工方法等について十分な知識を有していない	2	2	4	新規入場者教育の受講	職長	1	2	2
	2	健康状態を確認する	風邪、飲酒等により正常判断が出来ない	2	1	2	体調の確認、アルコールチェックを行い記録する	職長	1	1	1
	3	服装、保安用具の点検をする	しらすんだ一の音が鳴らない	2	1	2	全員で点検を実施する	全員	1	1	1
		機械・工具等の点検									
	4	朝礼、KYミーティングを行う	漠然と現場に入り事故を起こす	2	1	2	KYミーティングにて危険箇所を確認する	全員	1	1	1
	5	作業手順の確認をする	各自の作業が分かっていなくて、現場で不安全行動を起こす	3	2	6	個人の作業内容、作業手順を確認する	全員	1	2	2
	6	規制協議書の確認	協議書通りの規制でない	2	2	4	規制作業内容の確認	全員	1	2	2
	7	車両点検、荷姿チェックをする	作業車の積荷、スペアタイヤの落下	2	2	4	車両点検、荷姿チェックを行う	全員	1	2	2
移動		**現場への移動**									
	1	交通ルールを守り運転する	人身、物損事故	3	3	9	指差呼称を実施して安全確認する	運転手、助手	1	2	2
	2	高速道路に入る前にプレート区間の確認	プレート区間外使用、不正使用	2	1	2	通用区間、プレート、車番を確認する	運転手、助手	1	1	1
	3	規制内に車両を駐車する	車両が動いて、他のものに接触する	3	2	6	ハンドル切、サイドブレーキ、輪止めを必ずする	全員	1	2	2
本作業		**溝切清掃**									
	1	適切な保護具の着用。	保護具未装着によるけが。	1	2	2	適切な保護具の着用確認	全員	1	2	2
	2	職長は、安全管理に心がける。	作業員の不安全行動。	1	1	1	職長は作業より、安全管理・仕上げ具合に留意する	職長	1	1	1
	3	溝内の空き缶等を取り除く	空き缶などが通行車線側に転がる	2	1	2	都度、土嚢等で回収する	全員	1	1	1
	4	バール等であらかじめ土砂をほぐしておく	後退時に足元の段差や吸引ホースにつまずき転倒する	3	1	3	移動前に足元の確認を行い、ホース等は事前に移動させる	全員	1	1	1
	5	土砂を吸引車で回収する	ホースが通行車線側にはみ出る	2	1	2	ホースがはみ出ていないか適宜監視をする	全員	1	1	1
		現場離脱									
	6	荷姿をチェックする	作業車の荷台から物の落下	2	2	4	車両移動前、荷姿チェック時に確認しておく	全員	1	2	2
		〃	過積載になっている	2	1	2	積載量をチェックする	運転手	1	1	1
	7	作業車両離脱	一般車両との接触	2	2	4	車両の離脱は必ず保安員の指示に従う	運転手	1	2	2
	8	交通ルールを守り運転する	人身、物損事故	2	2	4	指差呼称を実施して安全確認する	運転手	1	2	2
片付け		**発生材の片付け**									
	1	処理場にて発生材を処分	ダンプアップ時、流れてきた発生材にまきこまれる	2	2	4	車両との離隔をとる	全員	1	2	2

参考図（写真等）

作業状況